

## これからの案内

### 《楽歩特例会》 大阪環状線 駅からウォーク

毎月、大阪環状線の駅から出発するコースを開催します。

3/13(日)

森ノ宮駅

大阪・奈良を結ぶ暗越奈良街道周辺をめぐる

暗越奈良街道と放出街道が交錯し、  
古き良き趣きが色濃く残る深江のまちを歩きます

- ◆集合：森ノ宮駅北口 9:45
- ◆解散：放出駅 14:30頃
- ◆歩程：10km(中間・6km)
- ◆参加費：一律 300円

#### 暗越奈良街道

暗越奈良街道は、古くから大阪と奈良を結ぶ最短の道でした。生駒山を超える際に、樹木が茂って昼でも暗い「くらがり峠」を越えることからこの名がつけました。この街道は江戸時代にお伊勢参りに利用された道で、東海道のような関所もなく、一日に7~8万人もの人が通る賑やかな街道でした。

#### 深江稲荷神社



創建は神社のHPによれば、垂仁天皇の頃に笠縫氏の祖が笠縫島の宮浦の地に居を定め、下照姫命を奉祀したのが初めて、和銅年間に山城国稲荷神社の分霊を勧請したとあります。笠縫部はのちに当地に移り、菅笠を生業にしました。伊勢神宮式年遷宮の行われる毎に御神宝の菅御笠を調進しており、又天皇陛下御即位式の大嘗会に用いられる「菅笠」も調進されます。

4/23(土)

桜ノ宮駅

リバーサイドから“野田藤の里”へ

水の都大阪 中之島公園とリバーサイドを巡り、  
豊臣秀吉も鑑賞したと伝わる「野田藤」の発祥の地へ

- ◆集合：桜ノ宮駅西出口 9:45
- ◆解散：福島駅 14:30頃
- ◆歩程：10km(中間・7km)
- ◆参加費：一律 300円

#### 福島区の花「のだふじ」

「のだふじ」は今から約600年前からその美しさで知られ、室町幕府二代将軍・足利義詮が詠んだ歌が有名で野田の地が全国的なものになったと言われています。その後、豊臣秀吉も見物に訪れるなど「吉野の桜・野田の藤・高雄の紅葉」は三大名所と藤の季節には訪れる人が絶えません。第二次世界大戦の空襲で、春日神社の古木の藤は焼失しましたが、地域の人達の尽力で、今では区内各所で咲き誇るとともに区民の皆さんに親しまれ、大切に守られています。令和4年に発行される新5000円札の裏面の図柄に採用されました。



#### 春日神社

昔は藤の宮とも呼ばれていました。藤原氏の祖神を祭っているといわれています。江戸時代に刊行された「藤伝記」にも藤原氏の分流が春日明神を勧請したと伝えられる。その後、野田村の庄屋であつた藤家の氏神として祭られていた。

5/22(日)

玉造駅

都会の中で咲き誇る“バラ”を求めて！

市内で最も歴史のある「バラ園」がある鞆公園と、  
都会のオアシス・中之島公園の「バラ園」を訪れます。

- ◆集合：玉造駅北口 9:45
- ◆解散：桜ノ宮駅 14:30頃
- ◆歩程：10km(中間・6km)
- ◆参加費：一律 300円

## (ご存知ですか！)

### ◇ 記念ピンバッジ プレゼント ◇

10駅 完歩者に



103系ピンバッジ  
+  
「半周踏破証」  
記念品

19駅 完歩者に



323系ピンバッジ  
+  
「一周踏破証」  
記念品

(応募方法)

- ・参加完歩者にスタート駅の「完歩証明書」をお渡ししますので「チャレンジカード」の該当駅欄に添付して提出ください。

- ・左記の「ピンバッジ」他をプレゼントします。

### ◇ 参加特典 ◇

- ・「大阪環状線 駅からウォーク」に参加10回で、次回参加費(1回分)が無料になります。
- ・参加受付時に「参加者カード」をお渡しします。次回以降ご持参ください。参加押印をします。

大阪府歩け歩け協会

Tel & Fax 06-6809-7006